

[参考] 地域振興用周波数の有効利用のための技術的条件に関する調査検討

1. 概要

400MHz帯地域振興用周波数を使用した無線システムのデジタル化について、技術的課題やシステム規格の検討、更には、湾内の通信システムであるマリンコミュニティホーンの代替システムとしての利用可能性等について調査検討を行い、異なる用途システムの共存条件やデジタル化に向けた周波数配置の具体案を策定して、周波数資源の有効利用を図る。

2. 背景

- ・地域振興用周波数を使用した無線システムにはMCA方式や同報通信方式などが混在しており、利用効率を向上させることが困難な環境にある。
- ・マリンコミュニティホーンは、製造が中止されており、他のシステムへの移行が急務となっている。
- ・地域振興用システムのデジタル化を図るとともに、設備の規格をなるべく同じにできれば、低コストで、かつ効率的な周波数配置を行うことが可能となる。

3. 実施内容

- ・地域振興用システムのデジタル通信方式の検討
- ・アナログからデジタル化に当たっての干渉条件の検討
- ・マリンコミュニティホーン統合化の検討
- ・デジタル化における周波数配置の検討

4. 効果

- ・地域振興用システム(マリンコミュニティホーンを含む)のデジタル化における周波数配置案の策定
- ・無線通信設備の規格の策定
- ・当該システムのデジタル化による低コスト化、周波数有効利用の実現

目 標

既存の地域振興用システムのデジタルへの円滑な移行及びデジタル化後の地域振興用周波数の有効活用。

対象周波数帯

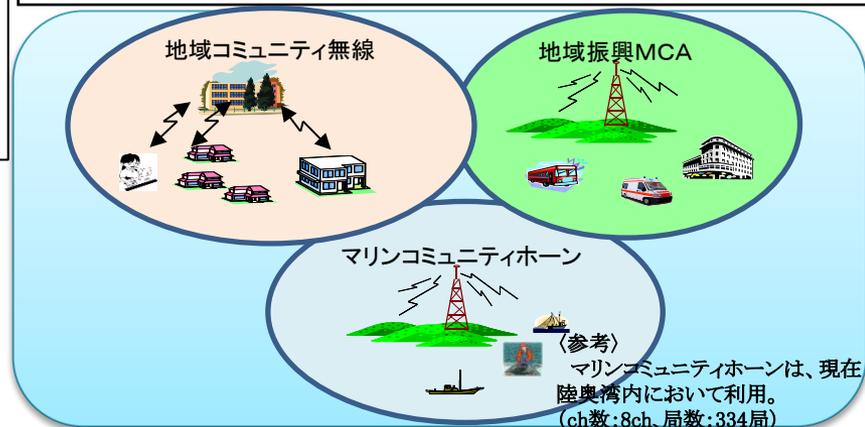
400MHz帯

実施期間

平成27年度

イメージ図

①地域振興用システムのデジタル化における既存システムの共存条件及び新たなシステムの設備規格等の検討



②デジタル化後の効率的な周波数配置を提案

